

梅干しの出荷準備をする横田邦夫さん。へに梅には専用のラベルが貼られている。越生町

# 「平和的移住に学ぼう」高

## 漫画家の里中さん講演 日

高麗 建郡 1300年

古代の歴史から地域づくりを考える「渡来人の里フォーラム」が19日、日高市で開かれた。持統天皇の生涯を描いた代表作「天上の虹」(講談社)で知られる漫画家の里中満智子さんが講演した。

高麗建郡1300年の記念事業。里中さんは古代史上の人物を描いた作品を発表し、記念事業の応援大使に就いている。「古代女性天皇と渡来人」を演題に、「高麗建郡当時の女帝、元正天皇は『氷高皇女(ひだかのひめみこ)』と呼ばれていた。日高と字」



古代女性天皇などについて語る里中満智子さん=19日、日高市の文化体育館

そ異なるが、つながりを想像してしまつ」と里中さん。渡来人の移住について「な

たのか、感動せざるを得ない」。他者を受け入れ、争わずに定住できた歴史から学

た。講演後、高麗王若光を祭る高麗神社の高麗文康宮司が進行役となり、里中さん、同市の谷ヶ崎照雄市長、一般社団法人「高麗1300」の大野松茂理事長、歴史愛好家をつくる「高麗浪漫学会」の高橋一夫会長が、古代史から地域づくりを探るトークイベントを行った。(関根義浩)

知ってもらい、安心して味わってもらえれば」と話していた。

# 科学

城西大

城西大学(水田宗子理事長)は、前文化庁長官の青柳正規氏の講演会「自然・人間そして科学技術」を坂戸キャンパス(坂戸市)の清光ホールで開いた。写真。教職員、学生、市民ら約500人が熱心に耳

を傾けた。青柳氏はギリシャ・ローマ考古学の第一人者。東京大学文学部長、同副学長を経て国立西洋美術館館長、文化庁長官を歴任。今春から城西大学

の先端科学研究所所長を務め、講演に先立ち、水田理事長が「科学技術や人間性など幅広い話をうかがうことで、日本と世界のことを考える良い機会にしたい」と話していた。(小林義治)

# 新議長 市民に開かれた議会を



新市移行後、第12代の議長に選出された。「市民に分かりやすいオープンな議会を目指したい。多くの議員に意見を聞きながら、議会運営をスムーズに進めていければ」と重責をかみ締める。高麗化や後継者不足、遊休農地の活用など、農業が抱える数多くの課題。農家として解決への糸口を探る

深谷市 馬場 茂氏

うちに、政治家への道が開けた。市のために働ける状況があれば、何かしたい」。当選後は、農業を通じた市の活性化に尽力してきた。深谷ねぎ焼酎「ねぎづい」の立ち上げ役を担当。東京都内へ深谷の野菜を売り込む市長のトップセールスを表現させた。現在3期目。今後はアウトレットで扱える、市産品の6次産業化に貢献したいと考えている。性格は真面目で「コツコツ。40年以上、毎日10キロの距離を走っている。おかげで、風邪以外の病気とはほとんど無縁の健康体だ。幸せを感じるのはマラソンの後。走ってビールを飲む時がいいね」とほほ笑む。妻、長男、長女の4人暮らし。65歳。(村田恭一)

# 県北



# 県西

本社 さいたま市北区吉野町2-1282-13  
編集局 TEL04817951916  
FAX0481675319040  
支社 熊谷市宮町2-1-22 第一宮町ビル2F  
TEL0481522110819  
FAX0481522111540  
dokusya@sairama-np.co.jp  
TEL048179519932